

アンケート項目

- [illegible]

			苦情の対象					
			個人		業者			その他
			一般個人	多頭飼育者	ペットショップ	ブリーダー	展示業	
苦情	内容	件数						
		虐待						
		遺棄						
		不適切飼育						
		近隣への迷惑						
		衛生(糞尿放置等)						
		その他						
		対処法						
	電話で聴取							
	現地調査							
	改善勧告							
	命令							

- | | | | |
|------------|---|----------|---|
| 施設管理費： 約 | 円 | 啓発事業費： 約 | 円 |
| 保護(捕獲)費： 約 | 円 | その他： 約 | 円 |
| 計 | 円 | | |

9. 動物を引き取る際、窓口で飼い主に対して指導していることがありましたら。（複数回答可）
- ☐ 飼い主に対して飼えなくなった理由を聴取しデータを集積している
- ☐ 新たな飼い主を探したかどうかの確認、また飼い主探しのアドバイスをする
- ☐ 子犬子猫を持ってくる人に親犬親猫の不妊去勢手術の確約を求める
- ☐ 動物実験に払い下げられる可能性があることを告げている
- ☐ その他（内容： _____）
10. 迷い犬を捕獲した場合、できるだけ飼い主に戻すために何か方法をとっていますか。（複数回答可）
- ☐ 写真、ビデオなどでできるだけ詳しく個体識別を行い、問い合わせと照合している
- ☐ 迷い犬情報を行政で一本化して提供している
- ☐ 保健所や警察間の広域連絡体制をつくっている
- ☐ できる限り収容期間を伸ばし、飼い主が現れるのを待つ
- ☐ 首輪（刺青等も含める）に鑑札や電話番号が付いていないかよく調べる
- ☐ マイクロチップの読み取りをする
- ☐ その他（内容： _____）
11. 犬猫の一般譲渡は行政がやるべきでしょうか、それとも一般市民グループにゆだねるべきと思われますか。
- ☐ 行政がやるべき ☐ 市民グループにゆだねるべき ☐ その他（ _____ ）
12. 民間の市民団体と話し合いの場を持ったり、支援や協力の意志はありますか。
- ☐ あり ☐ なし ☐ その他（ _____ ）
13. 犬猫の動物実験への払い下げは行なっていますか。
- ☐ 行なっている
- a) 平成14年度の払い下げ数（犬： _____ 匹、猫： _____ 匹）
- b) 払い下げ先の機関名（ _____ ）
- c) 今後止める予定： ☐ あり（ _____ 年 _____ 月より廃止予定） ☐ なし
- ☐ 行なっていない（ _____ 年 _____ 月より廃止）
14. 現在の動物収容施設の状況について。
- (1) 日当たり： ☐ あり ☐ なし ☐ その他（ _____ ）
- (2) 通風： ☐ あり ☐ なし ☐ その他（ _____ ）
- (3) 冷暖房： ☐ あり ☐ なし ☐ 冷房はある ☐ 暖房はある
- (4) 消毒： ☐ あり（頻度： _____ 回 / 月、消毒薬品名： _____）
- (5) 猫の専用の部屋： ☐ あり ☐ なし
- (6) 猫の保管： ☐ ケージ ☐ キャリーバッグ ☐ 麻袋 ☐ その他（ _____ ）
- (7) 子犬、成犬、子猫、成猫の区別： ☐ あり ☐ なし ☐ その他（ _____ ）
- (8) 大型犬小型犬の区別： ☐ あり ☐ なし ☐ その他（ _____ ）
- (9) 排泄場と休息場の区別： ☐ あり ☐ なし
- (10) 休日の給餌給水： ☐ あり ☐ なし（ ☐ 給水器あり ☐ 給水器なし）
15. 保健所・センター等動物収容施設の建設及び改善予定はありますか。
- (1) 建設予定 ☐ あり（予定 _____ 年 _____ 月） ☐ なし
- (2) 改善予定 ☐ あり（予定 _____ 年 _____ 月） ☐ なし
16. 動物の福祉の観点からみた保護収容施設（センター、保健所を含め）のあり方について。（複数回答可）
- ☐ 動物の収容施設は改善する必要がある ☐ 動物の福祉に配慮した施設の建設計画がある
- ☐ 施設の改善計画はない（現状で十分である） ☐ 施設を改善したいが、予算が付かない
- ☐ その他（内容： _____）

17. 引き取った犬猫の処分施設への輸送について。
☐ 行政が行なう ☐ 業者に委託している
18. 処分施設への輸送車に個別ケージは設置されていますか。
☐ 設置している
☐ 犬猫を区別 ☐ 成犬と子犬子猫を区別 ☐ その他 ()
☐ 設置していない
19. 殺処分の方法について。(複数回答可)
☐ ガス室
☐ 犬猫の区別なし ☐ 子犬子猫の区別なし
☐ 成犬と子犬・子猫は別個 ☐ その他 ()
☐ 注射 (薬品名:)
☐ その他 (具体的に:)
20. 19.について、今後変更予定はありますか。
☐ あり (どのように変更しますか:)
☐ なし
21. 犬猫の処分数を減らす為に、終生愛情飼育の啓発・普及活動をされていますか。(複数回答可)
☐ 啓発・普及のためのパンフレット等を作成している
内容: ☐ 法律 ☐ 飼い方 ☐ 避妊去勢 ☐ その他 ()
☐ 飼い主への講習会を開いている (年 回、対象人数 人)
☐ その他 (内容:)
22. 今現在犬猫の引き取りが義務づけられていますが、それをはずすことについてどう思われますか。
☐ 賛成 ☐ 反対
☐ その他 ()
23. 動物愛護法が2005年に再改正する見込みですが、行政として望むことをお書きください。(欄外可)
[]
24. その他何かご意見がありましたら何でもお書きください。(欄外可)
[]

※ 平成14年度の犬猫殺処分数等について

	犬			猫		
	子犬	成犬	合計	子猫	成猫	合計
引き取り数						
捕獲数						
返還数						
一般譲渡数						
実験払い下げ数						
殺処分数						
負傷犬収容数						
咬傷犬収容数						